

東京二十三区清掃一部事務組合品川清掃工場の環境方針

基本理念

廃棄物処理は、地域の公衆衛生を確保し都市環境を維持・向上していくために重要な役割を担っており、その影響は地域のみならず、地球規模にまで及びます。

かけがえのない地球環境を良好に保ち、次世代に引き継いでいくためには、ごみの発生抑制に加え、廃棄物からの資源回収による資源投入量の抑制、地球温暖化の防止、廃棄物処理の安全・安心の確保などの取り組みが必要です。

品川清掃工場は、廃棄物の焼却処理において発生する熱を有効利用した発電や大規模団地への熱供給などにより「循環型ごみ処理システム」を構築するとともに、安全で安定した施設運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

基本方針

- 1 環境関係法令及び「品川清掃工場の操業に関する協定」等を遵守します。
- 2 ごみの適正搬入を含めた適切な施設の維持管理とともに、それを担う人材の育成を進め、環境負荷低減と安定した工場の操業に努めます。
- 3 ごみ発電や地域への熱供給を安定的に行うとともに、主灰の再資源化を進め地球温暖化防止対策の推進と埋立処分量の削減に努めます。
- 4 し尿や浄化槽汚泥、ディスポーザ汚泥などの衛生的かつ効率的な前処理を推進します。
- 5 工場の屋上・壁面緑化の推進や太陽光発電パネルの設置による自然エネルギーの活用などにより、環境に配慮していきます。
- 6 環境目標を設定し、環境マネジメントシステムを運用してその達成を図るとともに、定期的な見直しを行い、継続的な改善と汚染の予防を図ります。
- 7 この環境方針を職員及び工場のために働く人に周知徹底するとともに、取組状況を積極的に区民等へ公表し地域に開かれた運営に努めます。

平成31年4月1日
東京二十三区清掃一部事務組合
品川清掃工場長 栗原 康明